巻頭論文

昇降機・ビルシステムの動向と将来展望

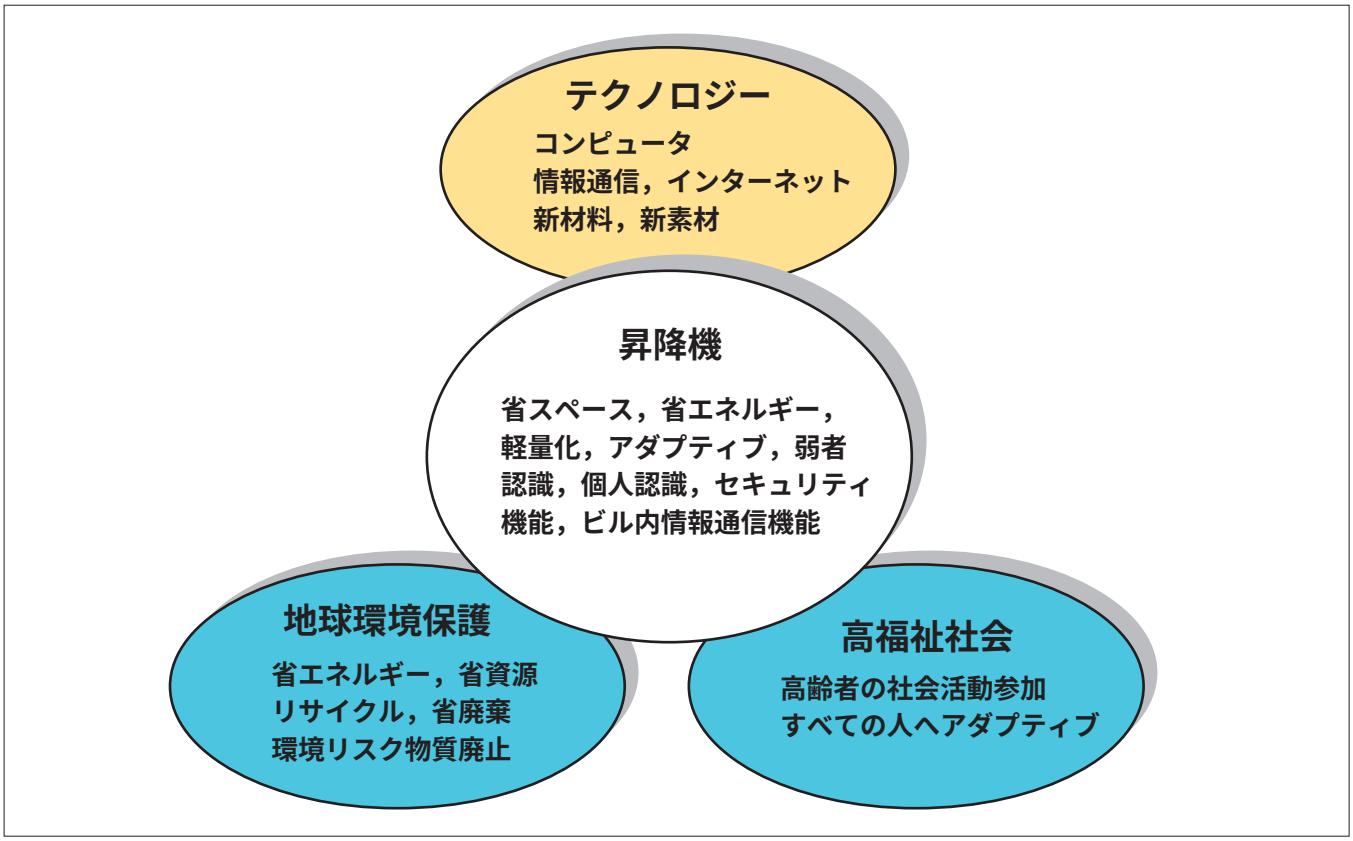
杉山美樹*　山田邦雄**

要　旨

IT(Infomation Technology)化を始めとする急速な技術革新，高齢化社会の到来に伴う高福祉化の進展，そして地球温暖化防止等の環境問題など，近年の社会環境は大きく変わりつつある。三菱昇降機は“Quality in Motion”のグローバルスローガンを掲げ，この変化の時代においても“進化するクオリティ”の考え方を根幹として効率性・快適性・安全性を追求し，人に優しい，環境に優しい昇降機の提供を目指している。

本稿では，市場動向を紹介するとともに，機械室レスエレベーター，薄形PM(Permanent Magnet)巻上機，遮煙乗り場ドア，ユニバーサルデザイン，モダニゼーションについて述べる。また，下図に示す昇降機を取り巻く環境とテクノロジーから，将来の昇降機像について考察する。

また，ビルシステム分野においては，ビル運営管理の効率化要求と危機管理ニーズが急速に高まっており，IT技術の著しい発展とあいまって，ビルシステムの高度化・大規模化・オープン化が急速に進展している。本稿では，ビルシステムの市場・技術動向及び市場ニーズの変化と，システムの進歩が特に著しいビルセキュリティシステムの製品動向及び将来展望について述べる。



昇降機を取り巻く環境とテクノロジー

地球環境保護や高福祉の中で，省スペース化・省エネルギー化・省資源化が進み，IT技術の進展とあいまって，すべての人のためのユニバーサルデザインは，すべての人へのアダプティブデザインへと高度化していく。さらに未来を予測すると，昇降機は単なるビル内の縦の移動手段のみでなく，垂直・水平方向のビル内移動と，ビル内情報通信機能，セキュリティ機能を有機的に融合したビル内交通・情報機能となっていくものと思われる。

*稲沢製作所 技術部長　**同製作所 ビルシステム部長